

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こばんはうすさくら おおたかの森教室（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	令和6年6月1日		～ 令和6年6月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	令和6年6月1日		～ 令和6年6月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年7月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<p>日常のプログラムが充実している</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5領域応じたプログラムを計画 ・季節感も感じられる内容 ・発達段階に柔軟な対応が可能 ・経験が得られる体験型の内容 	<p>十分に体を動かして遊ぶことを通して健康や人間関係を身につけるとともに、体を動かすことが楽しいと思う気持ちが育つよう遊びの内容を職員で話し合っ考えている。</p> <p>それぞれの児童の興味がどこにあるか、やってみたいと思える内容を提供する。季節を通して食育や栽培など実体験を得られるプログラムを検討して行う。</p>	<p>天候や気温などの制限はあるものの、屋外に出ることが可能な時は積極的に公園や散歩などを取り入れて幅の広い経験を積んでいきたい。</p> <p>児童の自然な行動を遊びに取り入れて楽しく、繰り返し出来るような活動に形成していく。</p>
2	<p>全職員が有資格者で支援にあたっている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育士、社会福祉士、児童指導員等の資格を持つ ・様々な職歴の職員がそれぞれの知識、経験を活かす ・特技を支援内容に活かして反映する ・更なる知識、資格取得、研修参加に積極的である 	<p>それぞれの資格の知識、職歴経験、アイデアを活かして利用児童に必要な支援の内容に反映している。</p> <p>制作工作や音楽、ダンス、伝統遊び等、児童がより興味を持って参加出来る内容につながるよう検討している。</p> <p>各研修、資格取得に対して費用負担やスケジュール調整等を行っている。</p>	<p>活動の幅が広がると同時に個々の児童の発達、課題に適した内容に近づくよう話し合い、検討、改善を重ねてより良い支援に向上させていく。</p>
3	<p>企業内系列教室の情報交換ができる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同一系列の5教室の情報交換ができています ・支援の工夫、事例検討など貴重な意見も共有 ・研修内容や学習を通して得た知識、経験の共有 	<p>定期で行われるミーティング、日常の朝昼礼、振り返りにおいて情報の交換を行う。課題の解決に貴重なアイデア、取り組みを共有して相互に向上する機会が得られる。</p> <p>リスク管理にも同様の効果が得られ、安全に支援を行うことが出来る。</p>	<p>話し合われた内容、方向性が全職員に浸透するよう、記録のファイル、振り返りノート等を活用して一体感が保たれるよう工夫していく。</p> <p>児童が楽しく参加できた活動、発達に効果のある取り組みなど共有していく。</p>

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<p>健常児、他の施設との交流が取れていない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート集計結果でも難しいとの意見が多い ・実際面の交流機会もなかなか実現困難である 	<p>感染症対策の面から見ても、まだまだ地域で不安な点が根強く残っており、交流の機会は少ない状況がある。</p> <p>地域の活動でも交流の場が設けられる環境には戻っていない。</p>	<p>感染症対策が若干緩和の方向には向かっているとも言えるので情報収集の努力は行い、参加のチャンスが得られれば積極的に利用を考えていく。</p>
2	<p>保護者会の開催が設けられず交流機会の減少</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者会があればより大きな交流が図ることが出来る ・子育てや発達の不安など声を聞く機会を増やしたい 	<p>現状ではまだまだ近隣や利用者、職員、ご家族を含めてもコロナ感染、他の感染症の発生は確認されるため、規模の大きな集会等に踏み切る段階には至らない状況がある。</p>	<p>以前は保護者会が開催出来ており、保護者同士の交流や普段の児童の様子や成長をお伝えして共感出来る機会が多く大変好評だった。動向を良く検討して再開に向けていきたい。</p> <p>アプリの導入により、以前よりは気軽に児童の発達や不安を相談出来る態勢は構築され、実際に少しずつ保護者との交流は増えてきているので有効に利用していく。</p>
3	<p>教室開設初年度のため利用数を増やしていきたい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集団行動の支援発展に向け更に利用者を募っていく ・地域や関連施設への広報活動をさらに充実させる 	<p>個々の課題や発達への取り組みを充実させるとともに、集団活動の中でこそ得られる成長を促すため、更に利用者の拡大が必要となる。現在、見学者や問い合わせも多くなってきているので広報、認知にも力を入れていく。</p>	<p>日常の支援を通して保護者の方々に信頼を増やしてきているので口コミを得られるなど、積み重ねる営業努力と共に広報活動としてポスティング、広告、挨拶訪問などを実施して集客にも行動していく。系列教室との合同企画を使ってより多くの児童とも触れ合える機会を増やしていく。</p>

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 8月 20日

事業所名 こぼんはうすくら おおたかの森教室

保護者等数(児童数) 3(3) 回収数 3 割合 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	3件				・広いと思います。	利用児の導線を考え、ぶつけやすいなどの危険な場所がないように整える等、定期的に確認していきます。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	3件					定期的に職員の研修会や勉強会等を行い、職員の教育に力を入れていきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	3件					利用児に合わせた環境作りを心掛けていきます。絵をつけてわかりやすく表示するなど、室内の掲示物等も工夫していきます。また、利用児の導線を考え、ぶつけやすい場所や、怪我をしやすいものがないか等、日々安全を考えた環境作りをしていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	3件				・新しくきれいで良いです。	毎日の清掃、週ごとの清掃等、チェックリストを用いて、抜けがないよう、清掃をしていきます。また、コロナやインフルエンザ流行期には、おもちゃや絵本等の毎日消毒をしていきます。
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	3件				・最初の面談でいろいろお話できました	まず面談等でじっくりお話します。児童発達支援責任者を含め職員間でのカンファレンスや、保護者、利用児とのコミュニケーションを大切に、計画しています。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	3件					ガイドラインを基に、支援計画を作成していきます。また、支援計画の内容が職員と共有できるよう、ミーティングや、朝礼、昼礼、終礼での確認をし、途中で支援計画変更の必要が出た場合は、都度変更、修正していきます。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	3件					個別支援計画を職員全員が理解した上での療育ができるよう、各自支援計画の確認をすることはもちろん、朝礼、昼礼での共有をしていきます。
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	3件					プログラムは、その季節に合わせた活動を心掛け、食育では、旬のものを取り入れるよう、工夫していきます。イベントや行事等は、曜日に偏りがないよう、各曜日の利用児が楽しめるよう、計画していきます。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2件	1件				現在、他の幼稚園等と関わる機会を計画することができていません。近隣でもまだコロナやインフルエンザ等の感染が出ている状況ですので、もう少し状況が改善した後、今後の課題として検討していきます。
保護者 への 説明等	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	3件				・きちんと説明を受けました。	契約時に児童発達支援管理責任者が書面をお渡しし、説明をさせていただきます。その後も、利用者負担額等が変わった時には、書面を作成しなおし、都度ご説明します。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	3件					保護者様にわかりやすいよう、支援計画を示しながら説明をさせていただきます。計画作成時だけでなく、必要があれば、都度ご説明させていただきます。
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	2件	1件				悩み等があれば、電話や面談でご相談に応じています。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	2件	1件				送迎時は時間を取ってのお話ができないため、何か追加でお話する必要がある場合は、職員と連携しつつ、児童発達支援管理責任者よりご連絡させていただきます。また、モニタリング時に限らず、ご要望があれば、都度お電話でのご相談や面談をさせていただいています。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	2件	1件			・これから徐々に増えていくと思いますので楽しみにしています。	半年に一度のモニタリング時の他、心配事があった場合等、都度お電話や面談をさせていただいています。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1件	1件		1件	・通い始めたばかりなのでまだ分らないです。またコロナも流行っているのでも、なくても、...	今後、コロナやインフルエンザ等の流行状況を注視しつつ、計画をしたいと思っています。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	3件					保護者様からご連絡をいただいた事項等は、連絡票に記載する習慣をつけ、ミーティング等で職員間の情報共有をしており、対応していきます。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	3件					心配事などがあれば、いつでもお電話をいただき、お話をさせていただきます。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	3件					「こぼんはうすくらだより」にて、行事等のプログラムを記載しています。「こぼん通信」では、前月の行事等の様子を写真付きでご紹介しています。今後も、様子がわかるような配信をしていきたいと思っています。
19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	3件					個人情報の取り扱いについては、職員研修等で指導しています。	
非常時 等の 対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	3件					避難訓練の様子も、こぼん通信等でご紹介していきたいと思っています。また、速足で防災センターに行くことも計画したいと思っています。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	3件					定期的に避難訓練をプログラムに入れています。利用児もスムーズに動けるようになってきているので、引き続き、指導していきたいと思っています。
満足 度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	2件			1件	・行かない日が続くとこぼんいつ?と聞いてくるほど大好きなようです。	楽しみながら療育に繋がるようなプログラムを計画していきます。曜日ごとに偏りがないよう、バランスの良いプログラムを心がけています。また、個々の発達に合わせ、無理のない、有益な療育ができるよう、心がけていきたいと思っています。
	23	事業所の支援に満足しているか	3件					今後もご満足いただける支援を続けられるよう、職員間で連携し、療育をしていきたいと思っています。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 8月 20日

事業所名 こぼんはうすくら おおたかの森教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6件		面積は基準に適合している 目が行き届くように配置が工夫されている	安全に過ごせるように配慮している
	2 職員の配置数は適切であるか	6件		適切または最低基準より多く配置されている	配置人数が多い分、個々に対しプログラムが充実するようにしている 職員の急病等での急な職員不足に対応できるよう連絡体制を整えておく
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6件		リスクは物理的な排除を心がけ、絵の表示や言葉で伝えられない児童のために視覚的なツールを用意している	表示が取れかかっているか、危険なところがないか日々整備する
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6件		毎日の清掃の他、ウィークリー/マンスリーの清掃をチェックリストを用いて行っている 住宅地という環境上、24時間の換気や騒音防止設備を完備している	感染症が発生した時など教室内の臨時消毒ができるよう、清掃用具、薬剤を揃えておく 室温注意し、夏は特に冷えすぎにも細かく配慮する
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返りに)、広く職員が参画している	6件		朝礼での確認と、終礼で振り返りを必ずしている 定期的なミーティングを行い、問題点を話し合っている	児童個々の課題に対し、支援の共有を強化していく
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6件		毎年ガイドラインアンケートを実施し、保護者のご意見や要望をうけミーティングを行っている	アプリの導入により、保護者からの声さがらに届くようになったので有効に活用する
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6件		こぼんはうすくらのホームページに公開している	保護者の声や評価を支援に活かしていく
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6件		こぼんはうすくら本部の方にアドバイスをいただいている	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6件		社内勉強会を定期的に開催している他、社外の研修にも参加している	職員のスキルアップがしやすい環境になっている 研修参加の時間がとりにくいで、オンデマンド研修などができたら良いと思う
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6件		児童発達支援管理責任者が作成した計画を共有している	保護者の希望も理解して支援を工夫していく
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6件		こぼんはうすくら本部から提供されたものを使用している	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6件		児童発達支援管理責任者が作成した支援計画に適切に盛り込まれている	計画内容をより具体的な日々の支援方法に落とし込んでいく 全員が理解したうえで支援ができるよう、ミーティング等で伝えていく
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6件		定期ミーティングでも、支援計画を基に話し合っている 支援計画を共有出来るよう、日々のミーティングで相談している	勤務が少ない職員は共有が難しいので、連絡ノートなども活用し、職員全員一体感をもって支援を行う
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	6件		児童発達支援管理責任者と管理者を中心に、支援員と日々相談しながら立案、準備運営を行っている	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6件		季節感を大切に、体験型プログラムが毎月とても充実している	毎月違うプログラムを作成、曜日の偏りがないようにしている 保護者にもトライできた喜びを伝えていく パラバルーンなど、児童の数がより充実した活動ができるものもあるので、さらなる利用者拡大にも力を入れた
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6件		児童の状況、発達に合わせて、安全性も考えて組み合わせている	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6件		朝礼、昼礼での確認時に、支援の流れと具体的な担当を相談している	途中から入る職員がいる場合は、支援リーダーのもと確認する 経験や能力を考慮して、最適な配置を心がける
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6件		終礼を必ず行っている。振り返りノートを活用し、その日出動していない職員にも共有している	反省はもちろんのこと、成功や喜び、よい工夫も共有していきたい
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6件		振り返りノート、アプリを活用し記録をとっている	課題になることはなるべく早く児童発達支援管理責任者と相談していく アプリは導入したばかりなので、不慣れな職員には指導していく
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6件		半年に一度実施し、その内容をファイルで職員に共有している	必要があれば期間中にも都度見直ししていく	
21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6件		児童発達支援管理責任者が参加し連携している	会議の記録をとり、職員で共有、保管している	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6件		児童発達支援管理責任者が参加し連携している	会議の記録をとり、職員で共有、保管している
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	6件		対象外	

関係機関や保護者との連携	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	6件		対象外	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6件		児童発達支援管理責任者が連携し、職員に共有している	会議の記録をとり、職員で共有、保管している
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6件		児童発達支援管理責任者が連携し、職員に共有している	会議の記録をとり、職員で共有、保管している
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6件		児童発達支援管理責任者が連携し、職員に共有している	会議の記録をとり、職員で共有、保管している
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	4件	2件	コロナ対策を考えると難しい	同じグループの他教室との交流やプログラムを通し関りを深めている
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子どもの子育て会議等へ積極的に参加している	6件		児童発達支援管理責任者が連携し、職員に共有している	会議の記録をとり、職員で共有、保管している
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6件		送迎時の伝え合いの他、児童発達支援管理責任者が面談や電話にて対応	保護者からの情報は、いち早く児童発達支援管理責任者に報告をする
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	5件	1件	市でのプログラムもあり、紹介参加したこともあったが、コロナ禍より実施していないため、児童発達支援管理責任者がフォローしている	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6件		書面を作成のうえ児童発達支援管理責任者が行っている。変更があればその都度作成している	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6件		書面を作成のうえ児童発達支援管理責任者がご説明し、同意を得ている。変更があればその都度作成している	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6件		モニタリング以外でも、相談があればいつでもお電話いただき、面談にしている	相談を受けなくても、悩みがありそうな様子があれば児童発達支援管理責任者に報告し、児童発達支援管理責任者から声をかけるようにする
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2件	4件	コロナ禍以前は行っていたが、現状、できていない	今後、コロナやインフルエンザ等の流行状況を注視しつつ、計画をしたい
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6件		相談があった場合は児童発達支援管理責任者へ連絡し、児童発達支援管理責任者から保護者へご連絡している アプリの連絡機能も利用していただいている	各職員が個々の判断で異なるアドバイスをしたくないように、児童発達支援管理責任者中心に連携し、共通の認識をもって進めていく
非常時等の対応	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6件		毎月こぼん便り(プログラムのお知らせや活動報告)を発行している。写真付きで工夫している	紙での発行からアプリでの配信となり、まだ操作に慣れていない方がいるので丁寧フォローしていく
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6件		定期的なミーティングで取扱いについて確認を行っている。鍵付き書庫で保管し、帰りに最終点検していく	書類の出しっぱなしがないよう、毎回確認する
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6件		絵やカードを利用し、理解できたか確認をしている	伝えつもりで済ませず、再度確認していく
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2件	4件	コロナ禍のため難しい	今後、コロナやインフルエンザ等の流行状況を注視しつつ、検討をしたい
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6件		各種マニュアルは本部の指導に沿って作成されており、年3~4回の訓練を行っている	シフトによりミーティングに参加できない職員に伝わりにくいので、連絡ノートや議事録で伝えていく訓練の様子は、こぼん便りで保護者に伝える
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6件		プログラムに組み入れ、行っている	訓練不参加の利用児を減らすため、複数回実施する
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6件		契約時、モニタリング時に確認している	個人ファイルに記載し、全職員に周知している
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6件		アレルギーカードを作成し、必ずダブルチェックしてから提供している。	
45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6件		ヒヤリハットファイルを使い共有している 事例が出たらミーティングで共有し、再発防止に努める	個々でヒヤットとする度合いが違うので、小さなことでも出来事として共有するようにする	
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6件		虐待研修を行っている	ミーティング欠席者にも伝わるよう、議事録連絡ノートを活用	
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6件		支援計画に記載、説明、同意を得ている	日々のミーティングでも確認する	